

保健福祉総務課長 様

高齢者福祉課長

設計支援委員会結果報告書

平成14年5月設計支援委員会に付議した、下記の施設整備事業について、結果を報告します。

記

事業名 (整備概要)	老人憩の家の改修(3か所) (老人憩の家興除園、都老人憩の家、錦六区老人憩の家における既存トイレの様式化、水洗化、玄関スロープの設置等)	
設計支援委員からの意見	具体化の結果・状況	
トイレの手すりは高齢者が使いやすいように、横手すりだけでなく、縦の手すりを取り付けてはどうか。	L型の手すりを設置することとした。	
トイレの中で倒れる等の事故を聞くこともあり、温度差に配慮するようなことも考えてはどうか。	家庭のトイレ使用のような、極寒期の長時間使用はないと思われることと、予算の上から空調設備の設置はしないこととした。	
利用者が多くないならば、トイレの個室を減らして1室を広くすればどうか。	多人数が集まる場合は、利用者が重なることもあり複数の個室を設けることとした。	
玄関の段差解消については狭い場所にスロープを付けることにより、皆の使い勝手が悪くならないようにすること。	全ての利用者のことを配慮し、スロープの設置個所を決定した。	
段差解消よりも段差があることがはっきりわかれば、気を付けることができるので、はっきりわかるようにすればよいのでは。	車いすで利用する場合は、段差解消が必要であり、スロープを設置することとした。	